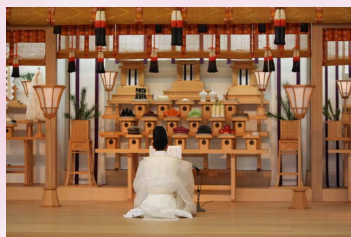


「夏越の祓」について

「夏越の祓」は、1年の半分の日、6月30日にあわせ、上半期の罪穢を祓い浄めて無病息災を祈願し、新たな気持ちで下半期に臨むという祭典です。

大本の教祖の一人、出口王仁三郎は、
大三災小三災の頻発も人の心の反映なりけり
と詠んで、世の中でおきているあらゆる災いは、私たちの心の乱れが生み出していると教えています。その意味からも、「夏越の祓」によって、私たちの心が祓い清められ、ひいては世の中の平安にもつながっていくのです。



お申込みについて

期 間 令和6年6月21日～7月10日までの20日間

場 所 東京都台東区池之端 2-1-44 大本東京本部 ご神前

申 込 大本東京本部にお越しの方は、ご参拝の日時をご連絡ください。

大本東京本部にお越しになれない方は、「夏越の祓申し込み」と書いて、住所、氏名、生年月日、年齢をご記入の上、FAX、メール、郵送等にてお申し込みください。

大本東京本部においてご祈願をさせていただきます。

Tel : 03-3821-3701 Fax : 03-3821-5283 mail : tokyohonbu@oomoto.or.jp

玉串料 3000円以上 【ゆうちょ銀行 00160-5-72625 (大本東京本部)】

ご下附 「夏越の祓の証」をご下附いたします。



麻ひもを使用した「夏越の祓の証」
麻ひもは古来、厄除けとして用いられています

【知っ得メモ】

「夏越の祓」といえば「水無月」の和菓子が有名です。京都が発祥の「水無月」は、白のういろ生地に小豆をのせ、三角形に包丁された菓子ですが、それぞれに意味がこめられています。水無月の上部にある小豆は厄祓いの意味があり、三角の形は暑気を祓う氷を表しているといわれています。ういろのモチモチとした食感と、小豆の程よい甘味がマッチした上品な味わいです。6月にしかいただけない季節ものです。ぜひ、お試してください。

